
本ニュースリリースは、ユニアデックス株式会社、IzumoBASE 株式会社の共同ニュースリリースです。重複して配信される場合がありますことを、ご了承お願いいたします。

NEWS RELEASE

2014 年 7 月 31 日

ユニアデックス株式会社
IzumoBASE 株式会社

ユニアデックス、IzumoBASE ソフトウェアストレージ「IzumoFS[®]」の保守サービスにおいて協業開始

ユニアデックス株式会社(社長:入部 泰、本社:東京都江東区、以下 ユニアデックス)と IzumoBASE 株式会社(社長:荒川 淳平、本社:東京都文京区、以下 IzumoBASE)は、Software-Defined Storage(以下 SDS^(注1))「IzumoFS」の保守サービスにおいて協業を開始し、24 時間 365 日の保守サービスを 8 月 1 日から提供します。

昨今、ストレージ分野はさまざまな技術革新があります。特にクラウドサービスの普及やデータの大容量化、サーバー仮想化などによる IT インフラ環境の変化に伴い、よりストレージの拡張性・管理性が求められていくことを背景に、それらを高い費用対効果で実現することが可能な SDS が普及していくものと見込まれています。

ユニアデックスは、このようなストレージ分野の変化に対応するため、ストレージシステムの新たな選択肢として「IzumoFS」の保守サービスを開始します。今後、ますます成長が予測されるストレージ市場で、お客さまが最適なストレージシステムを採用しやすい環境を整備していきます。

IzumoBASE は、この度の協業により、運用・保守サービスの国内市場で数多くの実績を持つユニアデックスによって、「IzumoFS」の 24 時間 365 日の保守サービスが全国各地で提供されることとなります。これにより、同製品に対するさらなる信頼性向上と、販売地域の拡大に弾みがつくことを期待しています。さらに、ユニアデックスが提供するクラウドサービス事業などで培われた知見やお客さまニーズを、今後の製品開発に生かしていきたいと考えます。

Software-Defined Storage 「IzumoFS」について

「IzumoFS」は IzumoBASE が独自に開発した、SDS を実現する分散ストレージソフトウェアで日本国内の大手通信事業者のオンラインストレージや、教育機関向けファイルストレージシステムなどに幅広く採用されています。「IzumoFS」は単一障害点を排除し、高可用性を実現しています。またインライン重複排除^(注2)機能、サービス無停止でのスケールアウト型拡張、シンプロビジョニング^(注3)対応、ディザスタリカバリー対応、マルチプロトコル対応^(注4)などクラウド時代・ビッグデータ時代のニーズに対応した機能を備えています。2014 年 1 月から最新の「IzumoFS Ver.1.6」の出荷が開始されました。

以上

注1: Software-Defined Storage (SDS)

従来は専用のストレージハードウェアで実現していた高い可用性や、スケーラビリティなどをストレージ仮想化技術により、ソフトウェアとして実現したストレージです。ソフトウェア化することにより、システムごとの異なる要件に合わせてハードウェアを柔軟に変えることができ、その上で同一レベルの機能性を持った費用対効果の高いストレージを提供することが可能となります。なお、最近では「ソフトウェア型ストレージ」は Software-based Storage と表現されることもあります。

注2：インライン重複排除

インライン重複排除はデータ書き込み時、リアルタイムにデータ中の重複しているブロックを削除する処理です。データ書き込み後にバッチ処理により重複排除を行うポストプロセス型に比べ、一時的にも重複データ分の容量を必要としません。

注3：シンプロビジョニング

ストレージ容量を仮想化することで、実際の物理容量に依存しない仮想的な容量を設定することを可能にする技術です。物理的なストレージの増強と仮想的なストレージの容量設定を切り離すことで、効率的なリソースの調達・提供が可能です。

注4：マルチプロトコル対応

「IzumoFS」では用途の異なる複数のストレージプロトコル（iSCSI/CIFS/NFS）をサポートしています。各プロトコルのデータ領域は単一のストレージプール内に作成されるため、効率的なリソース運用が可能です。

ユニアデックス株式会社 <http://www.uniadex.co.jp>

1997年設立。日本ユニシスグループの「インフラトータルサービス」企業です。ICT 基盤構築・運用・保守、設備設計・工事などを、ベンダーを問わず高い顧客満足度で提供しています。データセンター、サーバー、ネットワーク、デバイスなどを統合的に取り扱い、ICT インテグレーション、システムマネジメント、ファシリティ、保守サポート、グローバル対応、さらに複数のクラウドサービス利用を支援する「クラウドフェデレーションサービス」などを軸に、多様なソリューションとサービスメニューで支援しています。また、ユニファイド・コミュニケーション、グローバル対応などで実績を持つ、日本ユニシスグループのネットマークスと2014年3月1日合併統合しました。

IzumoBASE 株式会社 <http://www.izumobase.com/>

IzumoBASE は、ストレージの仮想化・分散化、オンラインストレージサービス等のノウハウを持つメンバーにより、ストレージ専門会社として2012年に設立されました。「ストレージを真にインフラにする」ことを目標に、SDS「IzumoFS」の開発と提供を行っています。

IzumoFS は、IzumoBASE 株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

< 読者問い合わせ窓口の表記には、以下の電子メールをご利用下さい >

ユニアデックス株式会社 マーケティングコミュニケーション 石崎

電話：03 - 4579 - 1081 URL：<http://www.uniadex.co.jp> のお問い合わせフォームから

IzumoBASE 株式会社 マーケティング担当 高岡

電話：050 - 5534 - 9427

URL：<http://www.izumobase.com/> のお問い合わせフォームから

< 報道関係問い合わせ窓口 >

日本ユニシス株式会社 広報部 報道室 富田・木谷

電話：03 - 5546 - 7404 E-mail：i-box@unisys.co.jp

ユニアデックス株式会社 マーケティングコミュニケーション 石崎・神戸

電話：03 - 4579 - 1081 E-mail：press-box@ml.uniadex.co.jp

IzumoBASE 株式会社 マーケティング担当 高岡

電話：050 - 5534 - 9427 E-mail：press@izumobase.com